

## Society for the Dissemination of Historical Fact

Shin Sakuma Bldg. 3F, 2-13-14, Nishi-Shimbashi, Minato-ku, Tokyo 105-0003, JAPAN

Tel 03-3519-4366 Fax 03-3519-4367 URL <http://www.sdh-fact.com>

---

ジョージ・ブッシュ アメリカ大統領閣下：

最近、アメリカ地名委員会が Liancourt Rocks (リャンコ岩礁、竹島または独島とよばれている) の帰属についての表示変更を行なったところ、韓国政府より強硬な抗議・圧力がかけられ、その結果、変更以前の表記に戻したということが伝えられています。

7月30日付けの国家安全委員会デニス・ワイルダー上席部長の記者発表によれば、この決定は、ブッシュ大統領がライス国務長官に変更の経緯をチェックするよう指示し、見直しがなされた結果、その時点では帰属についての変更は認められないとの決定がなされたということです。また、7月31日付のシーン・マコーミック報道官の記者発表によれば、この決定は、検討作業を行なったところデータベースに変則、不正確さが見出されたためにとられたものであるということでもあります。

たしかに、竹島を帰属地なしと記述していたのは、「不正確」であり、Japanと修正すべきであります。その論拠については、添付した小論文に述べられているとおり、そもそも竹島(または独島)は、1899年韓国で作成された『大韓地誌』の地図にも載らないことに象徴されているように、近代に至るまで韓国人の認識の彼方にあつた島であるという事実がまずあげられます。そして、戦後サンフランシスコ条約に日本が放棄する島として竹島を含めるべきであると韓国政府が要求したのに対して、1951年8月9日付のラスク国務次官補の書簡で、これを明確に拒否していることです。梁韓国大使の書簡とラスク次官補の書簡は添付したとおりであります。

アメリカ政府が、このように明確に表明した政府見解とそれに基づいて結ばれたサンフランシスコ条約を否定するようなことをするとしたら、重大な問題であります。アメリカ政府の信義とコンシステンシーの欠如を友好国日本とそして世界に対して表明する結果となるからであります。

アメリカ地名委員会のレビューの作業が、公平な立場と歴史事実に立脚したものであるよう、大統領から再度のご指示を行なうことをお願いするものであります。

平成20年8月20日

「史実を世界に発信する会」

代表

加瀬 英明

**ATTACHMENT : TAKESHIMA IS INDISPUTABLY JAPANESE TERRITORY**

**Attachment 1: Maps**

**Attachment 2: Letter From ROC Ambassador to the United States You Chan Yang to United States Secretary of State Dean G. Acheson**

**Attachment 3: Letter to ROK Ambassador to the United States You Chan Yang from United States Assistant Secretary of States for Far Eastern Affairs Dean Rusk**